



2015.1.19
コチ コンサルティング

新年おめでとうございます。昨年も人事・労務の領域では新法規の施行、政策変更が相次ぎ、実務の観点からご報告してまいりましたが、本年も引き続き、皆様の人事管理に実用的な情報をご提供していく所存です。倍旧のご愛顧を賜れますようお願い申し上げます。

昨年11月6日に通知された《外国人の短期業務完成のための入国に関する手続きプロセス（試行）》が本年1月1日より施行されています。本号では、中国での短期滞在に関わる留意点並びに、上海市の個人所得稅納稅證明書の電子化、年末賞与の動向をご報告いたします。

- 内容 【人事・労務情報】
- 外国人の中国短期滞在の留意点
 - 《個人所得稅納稅證明》電子版（上海）
- 【市場動向】
- 年末賞与の動向

人事・労務情報

■外国人の中国短期滞在の留意点

1月1日より施行されている《外国人の短期業務完成のための入国に関する手続きプロセス（試行）》は、人力資源社会保障部、外交部、公安部に加えて文化部の連名で通知されており、文芸活動に関わる滞在に関する規定が主ですが、一般業務の短期滞在の査証が明確化されたと言えます。

【短期業務完成任務の規定】

90日を超えない滞在が「短期業務完成任務」に該当する業務

- ①中国国内提携先における特定技術、科学研究、管理、指導等を完成させる業務
- ②人力資源社会保障部が認定するその他の状況

※他には、体育指導、スポーツ機構での訓練、撮影、ファッションショー、渉外営業性の演出に従事

90日を超えない滞在が「短期業務完成任務」に該当しない業務

- ③機器/設備の購買、部品修理、据え付け、調整、解体、指導及び研修
- ④国内プロジェクト遂行指導、監督、検査
- ⑤国内分公司、子会社、代表処への派遣による短期業務の完成
- ⑥国内報酬のない業務または海外機構が報酬を提供する(中国国内では)ボランティア業務

※他には、スポーツ競技への参加人員、文化部が批准書上で“渉外営業性演出”と記載しなかった場合。

【短期業務にかかわる査証】

滞在期間	30日以下	31日～90日	91日以上
①②	《外国人短期業務情報表》その他書類を提出 ⇒短期業務完成任務用許可証、 工作証明を取得（人力資源社会保障部） ⇒在外中国公館にて Zビザ 取得	居留許可証 （滞在期間90日）	
③④⑤	Mビザ		Zビザ + 居留許可証
⑥	Fビザ		

上記以外の短期滞在： **Zビザ** + 居留証

■ 《個人所得稅納稅證明》電子版（上海）

上海市稅務局は2015年3月より、個人所得稅のインターネットによる随時問合せサービス及び、《個人所得稅納稅證明》電子版の自動印刷サービスを実施すると発表しています。

NAVI これまで、納稅證明書は年1回郵送されていましたが、本年より郵送は廃止となりました。WEBからのダウンロード印刷による《個人所得稅納稅證明》は、居住証申請手続き、中古住宅購入等の事務処理に利用可能とされています。ただし、ビザ申請等の対外事務手続きには使用不可と思われる。

中途採用の際の前職の所得証明として、納稅證明書の提出を求めることが容易になり、また、転職によるむやみな賃金上昇抑制に有効であると思われる。

市場動向

■ 年末賞与の動向

多くの企業がこの時期に年末賞与を支給しますが、ネット上で様々な情報が飛び交っています。

大手人事調査機構が公表した《2014-2015年企業年末賞与調査報告》（サンプル数：6,432社）では84.3%の企業が年末賞与を支給するとしています。

【4割の企業が昨年比10%以下の増加】

前年比10%増：40%、前年比10~20%増：25%、増加率前年比5%以下：20%

【賞与水準も地域の経済発展水準に連動】

第1位	上海	8,523元
第2位	深セン	8,235元
第3位	北京	7,855元
第4位	広州	6,995元
第5位	杭州	6,601元
第6位	蘇州	6,490元

左記6都市は“6”時代に突入した第1グループ。第2グループは廈門、南京、寧波、成都、天津で平均支給額が5,000元代級。大部分の都市の平均賞与は4,000元代で、上位から無錫、福州、青島、重慶、長沙、鄭州、齋南、西安、大連、呼和浩特、昆明、合肥、瀋陽、南昌、石家荘としています。平均賞与額が3,000元に届かない都市は3都市。

NAVI 報酬水準のCity Indexのベンチマークに参考となる情報と思われる。

【支給額は半数近くが5,001~10,000元】

支給額は5,001元~10,000元：50%、10,001元~30,000元：25%、5,000元以下：22.4%、30,000元以上：4.1%であり、大半が1~2ヶ月、6ヶ月を超える企業も15%（昨年比1.3%増）。

【総監の賞与は一般職員の18倍】

総監の賞与は78,435元で部門經理（35,886元）の2.2倍、初級職員（4,356元）の18倍。報告では2014年比で総監、部門經理の賞与上昇率が大きく、高級管理職の離職率の高さと連動していると分析。

【ネットバンキングが“豪傑”業界、平均賞与は4万円】

2014年はネットバンキング業界はネット業界、金融業界から人材を奪い、振興“豪傑”業界となった。報告では平均賞与は39,873元で第1位。第2位：信託/基金/証券、第3位：旅行ネット、第4位：銀行/保険、第5位：ネット/ソフト開発、従来トップ3常連であった不動産業界は第6位。7,8,9位は月次賃金が低く年末賞与比率が高い、自動車、建築、航空。メディア/広告業界は本年業績が低迷し、21,012元で第10位であった。

* 報酬調査会社報告：2014年賞与増加率（中智報酬コンサル）

賞与増加率	第1四分値	中央値	第3四分値	平均値
2103年(中国報酬NET)	5.9%	9.3%	12.1%	9.5%
2014年(CIIC)	5.0%	9.0%	11.3%	9.1%

参考：賞与の所得稅政策：<http://cochicon.com/2-5-5-2/>
賞与の所得稅の留意点：<http://cochicon.com/2-5-5-3/>

NAVI 様々な情報が配信されていますが、基本的に賞与は会社業績と個人業績の反映であり、ネットでも、賞与制度を定め、従業員に公開している(透明化)企業が63.5%に上ると報道されています。